



コツコツと積み上げる

意見交換



学際委員 温暖化対策を進めていくためには、環境規制の導入にたよるを得ないのか。あるいはポラリティーな行動計画にゆだねるべきなのか。これは、古くて新しい問題である。発表者 家の断熱基準について規制するということ、これは自分の住み方が他人に迷惑を与えないという意味で、規制でなく、自己規律でやるべきところだ。

2つ目は、トップの決断。3つ目は、消費者の心の琴線に触れることにより、消費者を動かす考え方。

学際委員 「規制なくしてビジネスなし」との考え方もある。産業界に元気があっても、新しい技術を開発しないという状況は、規制でなく、自己規律でやるべきところだ。

学際委員 ヒートポンプ技術は国際的にみて、日本はどのような位置にあるのか。発表者 日本の場合、小型のヒートポンプの分野は非常に強い。また機器単体だけでなく、次世代ヒートポンプシステムとして総合的にメリットを最大化する研究開発がスタートしており、独自の強みが出てくる可能性がある。

産業界委員 民生以外でも、次世代型ヒートポンプの研究開発が動き始めている。発表者 産業用についても、日本におけるヒートポンプ技術としては是非これか

「ある程度の規律が必要」

発行者 温暖化対策を進めるうえでは、本気で取り組むべきところがある。その際、どのくらいのマーケットがあるのかきちんと調査をして、ある程度共通性のあるところを開発ターゲットとして、国として支援しながら進めていくことが大事である。

産業界委員 「エネルギー問題の根幹は、需要」とする考え方に同感だ。規制によって生活者、国民の行動を動かすことは当然、1つの考え方としてある。ただ規制をしたとしても、それが普及するのには、それだけの時間がかかり、その効果はどのくらい出てくるのか、難しい面がある。

学際委員 規制という意識で言うと、われわれがらお願いは、規制とコストを比較できるような形で、コストも見えたらいい。その議論を是非していただきたい。

社会の人たちに迷惑を与えない、守ってほしいというところになる。本人の自覚が望ましい。

産業界委員 規制という意識で言うと、われわれがらお願いは、規制とコストを比較できるような形で、コストも見えたらいい。その議論を是非していただきたい。

50%になるターゲットをつくる。これを聞いた瞬間、一体どうするのが一番か、一番気になるのは、システムの運用問題であり、再生可能エネルギーだけだと、出力が不規則に変動し、対応できない。

産業界委員 電気製品の大型化では、テレビも冷蔵庫もほとんど大型化傾向にある。

発行者 企業では大型化と同時に省エネについても懸念に取り組みを進めている。大型になってモーターのエネルギー消費は下がっていく形となれば、規律を守っていることになる。

産業界委員 日本の民生エネルギー需要はすでに飽和状態にある。住宅そのものの省エネが進んでいくと、需要が落ちる。日本でも義務化されると消費電力が落ちてくる」とみている。

発表者 家電製品では照明だけは伸びていて、ほかの用途はすべて横ばい、あるいは低下傾向にある。日本の家庭用エネルギーは、今の水準で落ちつか、あるいはこれから下がっていく。

座長 省エネを今日から、メーカーに申し込ませる。マーケットメカニズムによる省エネというだけでなく、ある程度の規律が必要であるという意見に賛同があり、ホッとしている。今後、未利用エネルギーも含めて、省エネの拡大は、日本にとっても大きな課題である。我々の努力が求められる。



ある。発表者 企業では大型化と同時に省エネについても懸念に取り組みを進めている。大型になってモーターのエネルギー消費は下がっていく形となれば、規律を守っていることになる。

産業界委員 日本の民生エネルギー需要はすでに飽和状態にある。住宅そのものの省エネが進んでいくと、需要が落ちる。日本でも義務化されると消費電力が落ちてくる」とみている。

発表者 家電製品では照明だけは伸びていて、ほかの用途はすべて横ばい、あるいは低下傾向にある。日本の家庭用エネルギーは、今の水準で落ちつか、あるいはこれから下がっていく。

座長 省エネを今日から、メーカーに申し込ませる。マーケットメカニズムによる省エネというだけでなく、ある程度の規律が必要であるという意見に賛同があり、ホッとしている。今後、未利用エネルギーも含めて、省エネの拡大は、日本にとっても大きな課題である。我々の努力が求められる。

11年度委員

座長



地球環境産業技術研究機構副理事長、東大名誉教授

茅陽氏(かや・よういち) 東大数物系大学院修了(工学博士)。東大教授、慶大大学院教授、科学技術振興事業団環境関連研究統括などを経て現職。

産業界委員

旭化成環境安全部長理事



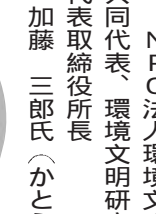
・よついち 京大工学卒、旭化成工業(現旭化成)入社、サントック製造部長、ポリマ

・西田 享平氏(にしだ・) 執行役員、技術部、水素エネルギー部、環境保安部各担当



きょうへい) 東大大学院工学研究科修士課程修了、通産省(現経産省)入省、地

学際委員



NPO法人環境文明21 共同代表、環境文明研究所代表取締役所長

加藤 三郎氏(かとう・) さぶろう) 東大工学系大学院修士課程修了。厚生省(現厚生労働省)入省、環境庁(現環境省)国際課長、地球環境部長などを経

域振興整備公団工業再配置事業部長などを経て現職



まさゆき) 千葉大学大学院工学研究科修士課程修了、NEC入社、伝送通信事業部生産技術部技術課長、環境推進部統括マネージャーなどを経て現職。

・ひろみち) 早大大学院修士課程修了、日本電信電話公社(現NTT)入社、情報流通基盤総合研究所アクセルサービスシステム研究所長、情報流通基盤総合研



・ひろみち) 早大大学院修士課程修了、日本電信電話公社(現NTT)入社、情報流通基盤総合研究所アクセルサービスシステム研究所長、情報流通基盤総合研

産業界委員



・とものり) 武蔵工大工学卒、キヤノン入社、カメラ事業部長、イメージコミュニケーション事業本部長などを経て現職。

・きよし) 北大工学卒、東芝入社、環境推進部参事、製品環境推進部長などを経て現職。

・さだひろ) 九大経営、トヨタ自動車工業(現トヨタ自動車)入社、グローバル調達企画室統括室長、CSR・環境部CSR室グループ長などを経て現職。



・よしひこ) 北大農学、十條製紙(現日本製紙)入社、石巻工場技術環境部長、技術本部生産部長代理などを経て現職。

・よついち 名大大学院工学研究科修士課程修了、日立製作所入社、電力グループ環境管理センター長などを経て現職。



・よついち 名大大学院工学研究科修士課程修了、日立製作所入社、電力グループ環境管理センター長などを経て現職。

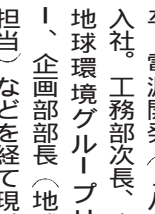
学際委員



・きよし) 北大工学卒、東芝入社、環境推進部参事、製品環境推進部長などを経て現職。

・さだひろ) 九大経営、トヨタ自動車工業(現トヨタ自動車)入社、グローバル調達企画室統括室長、CSR・環境部CSR室グループ長などを経て現職。

・よしひこ) 北大農学、十條製紙(現日本製紙)入社、石巻工場技術環境部長、技術本部生産部長代理などを経て現職。



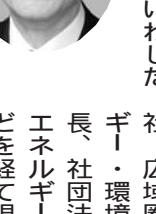
・よしひこ) 北大農学、十條製紙(現日本製紙)入社、石巻工場技術環境部長、技術本部生産部長代理などを経て現職。

・よついち 名大大学院工学研究科修士課程修了、日立製作所入社、電力グループ環境管理センター長などを経て現職。



・よついち 名大大学院工学研究科修士課程修了、日立製作所入社、電力グループ環境管理センター長などを経て現職。

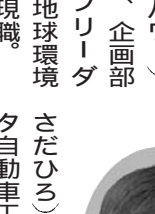
産業界委員



・きよし) 北大工学卒、東芝入社、環境推進部参事、製品環境推進部長などを経て現職。

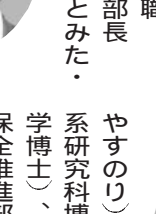
・さだひろ) 九大経営、トヨタ自動車工業(現トヨタ自動車)入社、グローバル調達企画室統括室長、CSR・環境部CSR室グループ長などを経て現職。

・よしひこ) 北大農学、十條製紙(現日本製紙)入社、石巻工場技術環境部長、技術本部生産部長代理などを経て現職。



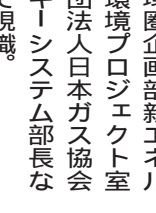
・よしひこ) 北大農学、十條製紙(現日本製紙)入社、石巻工場技術環境部長、技術本部生産部長代理などを経て現職。

・よついち 名大大学院工学研究科修士課程修了、日立製作所入社、電力グループ環境管理センター長などを経て現職。



・よついち 名大大学院工学研究科修士課程修了、日立製作所入社、電力グループ環境管理センター長などを経て現職。

学際委員



・きよし) 北大工学卒、東芝入社、環境推進部参事、製品環境推進部長などを経て現職。

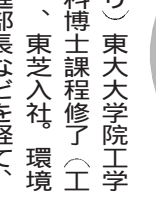
・さだひろ) 九大経営、トヨタ自動車工業(現トヨタ自動車)入社、グローバル調達企画室統括室長、CSR・環境部CSR室グループ長などを経て現職。

・よしひこ) 北大農学、十條製紙(現日本製紙)入社、石巻工場技術環境部長、技術本部生産部長代理などを経て現職。



・よしひこ) 北大農学、十條製紙(現日本製紙)入社、石巻工場技術環境部長、技術本部生産部長代理などを経て現職。

・よついち 名大大学院工学研究科修士課程修了、日立製作所入社、電力グループ環境管理センター長などを経て現職。



・よついち 名大大学院工学研究科修士課程修了、日立製作所入社、電力グループ環境管理センター長などを経て現職。

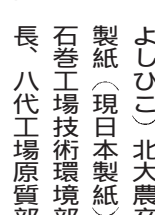
産業界委員



・きよし) 北大工学卒、東芝入社、環境推進部参事、製品環境推進部長などを経て現職。

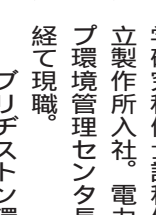
・さだひろ) 九大経営、トヨタ自動車工業(現トヨタ自動車)入社、グローバル調達企画室統括室長、CSR・環境部CSR室グループ長などを経て現職。

・よしひこ) 北大農学、十條製紙(現日本製紙)入社、石巻工場技術環境部長、技術本部生産部長代理などを経て現職。



・よしひこ) 北大農学、十條製紙(現日本製紙)入社、石巻工場技術環境部長、技術本部生産部長代理などを経て現職。

・よついち 名大大学院工学研究科修士課程修了、日立製作所入社、電力グループ環境管理センター長などを経て現職。



・よついち 名大大学院工学研究科修士課程修了、日立製作所入社、電力グループ環境管理センター長などを経て現職。

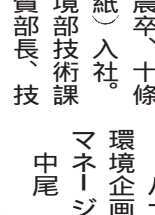
学際委員



・きよし) 北大工学卒、東芝入社、環境推進部参事、製品環境推進部長などを経て現職。

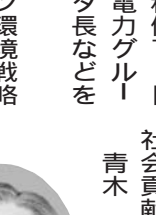
・さだひろ) 九大経営、トヨタ自動車工業(現トヨタ自動車)入社、グローバル調達企画室統括室長、CSR・環境部CSR室グループ長などを経て現職。

・よしひこ) 北大農学、十條製紙(現日本製紙)入社、石巻工場技術環境部長、技術本部生産部長代理などを経て現職。



・よしひこ) 北大農学、十條製紙(現日本製紙)入社、石巻工場技術環境部長、技術本部生産部長代理などを経て現職。

・よついち 名大大学院工学研究科修士課程修了、日立製作所入社、電力グループ環境管理センター長などを経て現職。



・よついち 名大大学院工学研究科修士課程修了、日立製作所入社、電力グループ環境管理センター長などを経て現職。

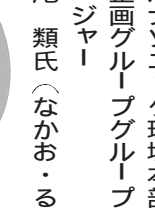
産業界委員



・きよし) 北大工学卒、東芝入社、環境推進部参事、製品環境推進部長などを経て現職。

・さだひろ) 九大経営、トヨタ自動車工業(現トヨタ自動車)入社、グローバル調達企画室統括室長、CSR・環境部CSR室グループ長などを経て現職。

・よしひこ) 北大農学、十條製紙(現日本製紙)入社、石巻工場技術環境部長、技術本部生産部長代理などを経て現職。



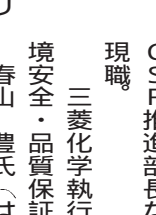
・よしひこ) 北大農学、十條製紙(現日本製紙)入社、石巻工場技術環境部長、技術本部生産部長代理などを経て現職。

・よついち 名大大学院工学研究科修士課程修了、日立製作所入社、電力グループ環境管理センター長などを経て現職。



・よついち 名大大学院工学研究科修士課程修了、日立製作所入社、電力グループ環境管理センター長などを経て現職。

学際委員



・きよし) 北大工学卒、東芝入社、環境推進部参事、製品環境推進部長などを経て現職。

・さだひろ) 九大経営、トヨタ自動車工業(現トヨタ自動車)入社、グローバル調達企画室統括室長、CSR・環境部CSR室グループ長などを経て現職。

・よしひこ) 北大農学、十條製紙(現日本製紙)入社、石巻工場技術環境部長、技術本部生産部長代理などを経て現職。



・よしひこ) 北大農学、十條製紙(現日本製紙)入社、石巻工場技術環境部長、技術本部生産部長代理などを経て現職。

・よついち 名大大学院工学研究科修士課程修了、日立製作所入社、電力グループ環境管理センター長などを経て現職。



・よついち 名大大学院工学研究科修士課程修了、日立製作所入社、電力グループ環境管理センター長などを経て現職。

創・省エネでスマート社会

しなやかな復元力 (resilience)



地球規模で年を追うごとに深刻化する温暖化の解決と豊かな生活をどう両立させるか。いま、全世界がこの問題に直面しています。一見、渾然一体とみまがうほどの両立のあり方が、理想のソリューションといえるかもしれません。

グリーンフォーラム21は91年、「企業は『環境保全』と『経済成長』の両立を可能にするための道を最重要課題として喫緊に具体化する必要がある」との問題意識から設立されました。今後、スマートな低炭素社会へと着実に変容していくため、次世代エネルギーなど優先活用すべき革新的技術の開発をはじめとする環境力、さらに生活まわりや産業のあり方を変革する、しなやかな復元力 (resilience) も同時に求められています。

今年もグリーンフォーラム21は、先導役を力いっぱい果たしていきます。

詩 それは 海からこぼれて 空になるように
空からこぼれて 海になるように
そのように書かなければいけないものなのです

【書く】 石原 吉郎